

平成17年度9月補正予算について

平成17年8月
宮 城 県

1 予算編成の考え方

平成17年度当初予算は、構造的な多額の財源不足に対応するため、財政再建推進プログラムに基づき徹底した歳出削減を図るとともに、各種歳入の確保に努め、想定される最大の収入額を計上することにより編成したところであるが、今年度の歳入見通しは、根幹となる県税収入の動向が未だ不透明であるなど、財源確保が非常に困難な状況にある。

こうしたことから、今回の補正予算では、中小企業金融対策、市町村合併交付金のほか、村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場対策、プロ野球球団本拠地振興対策など当面急を要する施策を厳選し、必要な措置を講ずることとした。

2 予算規模等

以上の結果、今回の補正額は一般会計で約75億円、総会計で約74億円、9月現計では、一般会計で約8,277億円（対前年度同期比1.0%減）、総会計では約1兆1,433億円（対前年度同期比2.8%増）となった。

3 歳出予算の内訳（総会計）

(1) 中小企業経営安定資金貸付金	42億円
(2) 市町村合併交付金	約11億円
(3) プロ野球球団本拠地振興費	約2億円
(4) 臨空都市区画整理事業推進費	約6億円
(5) その他	約13億円

[産業廃棄物処理施設対策費、アスベスト対策費等]